

はじめに

江戸巡礼古道は、秩父札所 34ヶ所を結ぶ古道ですが、秩父路にお越しいただいた方が気軽に歩いていただけるハイキングコースでもあります。

のどかな田園風景や市街地をぬけるまちなかの道、険しい峠道など変化に富んだコースを散策することで、きっと新しい“秩父”を発見することができますよ。



季節の風を感じながら、古の道いにしえを歩いてみませんか？

次のことに気をつけて、楽しく歩いてください。

- ・台風や大雨など気象の急変時や増水時などは危険ですからお止めください。
- ・各詳細図マップの徒歩時間は、標準的な時間を記してあります。ご自分の体力に合わせ、無理をせず楽しみましょう。
- ・各詳細図マップは、一日で回れるモデルコースではありません。アクセスも考えて、計画を立ててください。

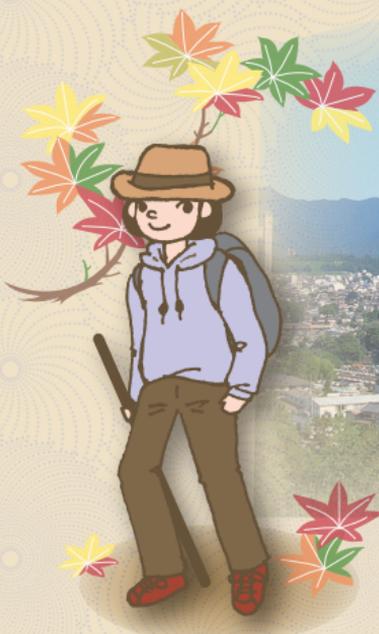
秩父札所について

秩父三十四ヶ所観音霊場は、西国三十三ヶ所、坂東三十三ヶ所と共に日本百番観音霊場に数えられています。

秩父札所のおこりは遠く文暦元年（1234）甲午三月十八日開創と伝えられ、長享二年（1488）の札所番付（札所三十二番寺蔵）が実在する事から、既に室町時代後期には秩父札所が定着したと考えられ、江戸時代になると観音信仰は庶民の間にも広まりました。

秩父札所は、一番四萬部寺から三十四番水潜寺まで一巡りすると約100kmほどになります。

山あいの風景の中、道ばたの草花を楽しみながら、素朴な石仏を見つけながら歩くことができます。



このマップは出発地点を下(地)にして、歩きやすいようレイアウトしており、普通のマップのように北が上(天)になっておりません。また、江戸時代の雰囲気を感じてもらうため、その時代に造られたものをできるだけ記載しました。